

港湾局

<予算額>

問い合わせ先:庶務課 200-3048 内)41101

一般会計 12,223,184千円 (対前年度比: +22.0%)

港湾整備事業特別会計 3,183,632千円 (対前年度比: +11.9%)

<主な事業>

災害・危機事象に備える対策の推進

港湾の防災・減災対策の推進

- 災害発生時に緊急物資等の輸送機能を確保するため、千鳥町7号岸壁の耐震改修を実施します。また、東日本大震災の教訓を踏まえ、首都圏で想定される最大級の地震発生時に備えるため、国直轄整備により東扇島9号岸壁の耐震改修を実施します。
- 津波・高潮発生時の内陸部への浸水対策及び防潮扉を閉める作業員の安全性を確保するため、海岸保全施設の改良を実施します。
- 緊急物資の輸送を円滑かつ確実にを行うため、緊急物資輸送路の液状化対策を実施します。

一般会計 2,732,023千円



岸壁の耐震改修



海岸保全施設の改良

広域連携による港湾物流拠点の形成

コンテナターミナルの利用促進・活性化

一般会計 6,593千円

港湾整備事業特別会計 1,333,866千円

- 荷主等を対象に国内外でセミナーを実施するなど、中国・東南アジア方面との新規航路開設や既存航路の安定化に向けたポートセールスを官民一体となって推進します。
- 国際コンテナ戦略港湾である京浜港（川崎港、東京港、横浜港）の国際競争力強化に向けた取組の一環として、新規荷主の獲得・航路の維持拡大等を目的とする「川崎港利用促進コンテナ貨物補助制度」を実施します。
- 28年3月、横浜川崎国際港湾㈱が京浜港の港湾運営会社として設立されることに伴い、横浜川崎国際港湾㈱と、ターミナル運営に実績とノウハウを持つ川崎臨港倉庫埠頭㈱による共同事業体を川崎港コンテナターミナルの指定管理者に指定することにより、それぞれの会社の特徴を活かし、更なる貨物量の増加と効率的な運営を図ります。
- 増加するコンテナ貨物の蔵置場所の確保のため、ターミナル内のヤード整備を実施します。

港湾施設の整備・維持管理の推進

一般会計 641,419千円

港湾整備事業特別会計 38,065千円

- 大型船舶の2隻同時着岸を可能とし、荷役効率の向上を図るため、コンテナ1号岸壁の延伸に向けた付帯施設の設計を実施します。
- 高度経済成長期を中心に整備した護岸や係留施設等の港湾施設老朽化に対応するため、中長期的な維持管理計画に基づき、定期的に点検を実施し、当該計画の更新及び補修工事を行います。

臨港道路東扇島水江町線整備の推進

一般会計 4,868,210千円

港湾整備事業特別会計 127,384千円

○交通需要の増加に対応する新たな交通機能の確保及び臨海部の災害時における輸送ルートの手代手段の確保を目的として、国の直轄事業による臨港道路東扇島水江町線の整備を推進します。また、関連事業として、東扇島内臨港道路の道路拡幅等、道路改良工事を推進し、混雑の緩和を図ります。

東扇島堀込部等の埋立の整備・維持管理の推進

一般会計 175,000千円

港湾整備事業特別会計 240,208千円

○臨海部における企業活動の継続性を確保するため、東扇島堀込部の土地造成に向けた調査・設計及び事業計画の策定を行います。

○市内公共工事から発生する建設発生土等を受け入れている浮島2期地区廃棄物埋立護岸の維持管理を行います。

市民に開かれた安全で快適な臨海部の環境整備

魅力ある緑地・親水空間の形成

一般会計 549,850千円

○平常時は人工海浜やバーベキュー広場など、港に集う人々の憩いの場として、また災害発生時には基幹的広域防災拠点としての機能を有する東扇島東公園の適切な維持管理を行います。

○みなと祭りや夜景ツアー等の拠点として、市民に親しまれている川崎マリエンの適切な維持管理を行います。

○オリンピックを目指すビーチバレーボール選手の強化拠点として、JOC認定バレーボール強化センターに認定されている川崎マリエン内ビーチバレーコートの維持整備を行います。

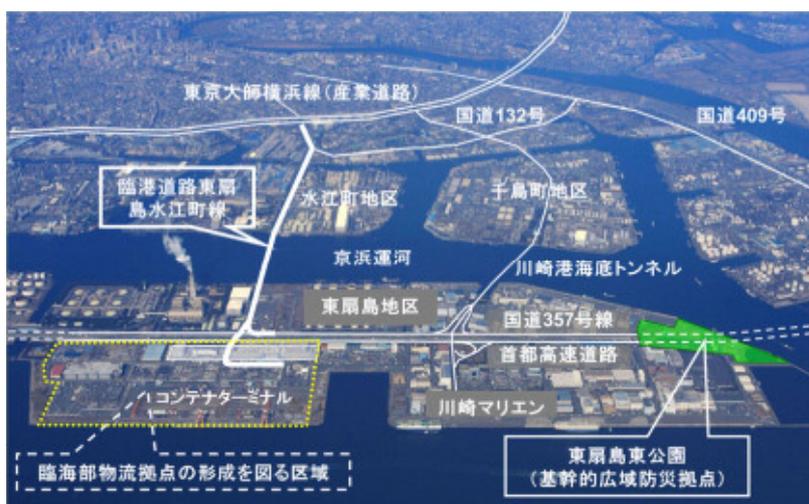
適切な保安対策の推進

一般会計 577,754千円

港湾整備事業特別会計 101,306千円

○安全に安心して利用できる港を維持するため、港内巡視や保安警備、港内環境の保全を実施します。

○港内を巡視する船舶が老朽化していることから、巡視船の新造を行います。（拡充）



川崎港航空写真



人工海浜（東扇島東公園）



ビーチバレーボール川崎市長杯
(川崎マリエン)

※表内の図は完成予定のイメージです。

臨海部国際戦略本部

<予算額> 問い合わせ先:総合企画局臨海部国際戦略室 200-3738 内) 23402

564,794千円 (組織新設)

<主な事業>

臨海部の戦略的な産業集積と基盤整備

臨海部の競争力強化 8,000千円

○臨海部立地企業の設備老朽化や地球規模の産業構造転換が行われる中、川崎臨海部が産業競争力を持ち続けるため、目指すべき将来像と、その実現に向けた大局的な戦略を示す「(仮称)臨海部ビジョン」の策定に向け、取組を進めます。(新規)

臨海部のPR推進 27,395千円

○国内外における川崎臨海部の認知度を高め、ブランドの確立を図るため、メディア戦略、ウェブニュースレターの発行や市民向け広報などを行います。

殿町国際戦略拠点の整備 14,550千円

○キングスカイフロントを世界最高水準の魅力のある研究開発拠点とするため、良好な景観形成や、研究者や国内外からの来訪者の利便性に配慮した機能など、国際戦略拠点に相応しい高水準・高機能な拠点整備を検討・推進します。(新規)

国際戦略拠点のマネジメント推進 23,942千円

○キングスカイフロントの持続的な発展に向けて、国の「リサーチコンプレックス推進プログラム」を活用しながら、拠点マネジメント体制の構築、異分野融合研究によるイノベーション創出、次世代を担う人材の育成、市内外の拠点との連携促進などを行います。(新規)

臨海部交通ネットワークの整備推進 4,150千円

○臨海部の交通ネットワークの充実に向けた東海道貨物支線の貨客併用化等の検討や鉄道利用の促進に向けた調査を行います。

羽田空港周辺の拠点機能向上 6,000千円

○羽田連絡道路の整備を契機とする新たなバス路線など、臨海部等と羽田空港を結ぶアクセス機能等の充実に向けた検討を行います。



産業構造転換が進む臨海部

浮島地区の土地利用推進

5,000千円

○埋立竣工後、本格的土地利用がされていない浮島1期地区の土地利用に係る整備計画の検討を行います。

産業道路駅前地区の整備推進

26,428千円

○キングスカイフロントをはじめとした臨海部へのアクセス性を高める交通拠点機能の整備に向けて、駅前交通広場の基本設計等を行います。

塩浜3丁目周辺地区の整備推進

9,526千円

○公共公益施設などの市有財産が集積している塩浜3丁目周辺地区において、施設の更新等に合わせた土地利用計画の検討を行います。

ナノ医療イノベーションの推進

ナノ医療イノベーションの推進

394,726千円

○先端医療を広く普及・浸透させるため、ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）の円滑な運営に向けた支援を通じ、オープンイノベーションにより「ナノ医療技術」の研究及び研究成果の実用化を進めます。



ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）

「川崎水素戦略」に基づく取組の推進

「川崎水素戦略」に基づく取組の推進

8,000千円

- 臨海部における水素供給ネットワークの構築を推進します。
- 産業部門における新たな水素需要の創出など、多分野にわたる水素利用の拡大を図ります。
- 産官学や自治体間の連携による水素の普及啓発活動を推進し、社会認知度の向上を図ります。
- 国や関係自治体、企業等多様な主体と連携した水素・燃料電池のリーディングプロジェクトを推進します。



再生可能エネルギーと水素を用いた自立型エネルギー供給システム

消防局

<予算額>

問い合わせ先:庶務課 223-2501 内)48101

17,152,998千円 (対前年度比:△10.2%)

<主な事業>

消防力の総合的な強化

防災拠点としての整備

800,277千円

○東京ヘリポート内にある航空隊庁舎を改築し、ヘリコプター活動拠点としての機能強化を図ります。(28年度新庁舎完成予定、29年度旧庁舎解体予定)

○消防訓練センター(旧消防総合訓練場)にある訓練塔の機能強化に向けた整備を行い、消防隊等の災害対応力の向上を図ります。

(28年度補助訓練塔完成予定、29年度主訓練塔完成予定)

消防指令体制の整備

867,726千円

○119番通報を受ける指令システム等の機器更新を行い、常に緊急通報を受信できる体制を維持します。また、災害点特定の迅速化を図り、システム障害時に使用する機能の改修や大規模災害時等の通報受信体制を強化するなど市民サービスの向上を図ります。

(28~30年度更新予定)



消防指令センター

消防団活動の充実強化

207,038千円

○消防団員が災害・訓練・警戒活動や市民への訓練指導を行う際に着用する作業服等の個人装備品や、消火活動を行う際に必要となる装備品を貸与・配置することで、消防団活動の安全を図ります。

○消防団員が災害現場において使用する資機材や、情報を収集し迅速に消防団本部と消防指揮本部との情報共有を可能にするMCAデジタル無線機を引き続き整備します。

○「防塵メガネ」及び「防塵マスク」を消防団に貸与し、災害活動等における安全確保の強化を図ります。



消防団員の消防訓練



警防活動の推進

○29年に道路交通法の改正法律が施行され、新免許区分が新設されることで、普通免許では、消防ポンプ自動車等が運転できなくなるため、消防車両を運転できる大型免許を計画的に取得する必要があります。現行の消防自動車による警防体制を維持するよう計画的な資格の取得に取り組んでいきます。

234,748千円



大型消防車両

消防庁舎等の整備

○老朽化が進んでいる消防庁舎について、長寿命化工事を行います。また、施設機能の見直し等を行い、救急隊の増隊を踏まえて整備を行います。(新規)
(麻生消防署王禅寺出張所長寿命化工事の設計)

548,859千円

医療供給体制の充実・強化

救急活動体制の向上

○救急活動の向上を図るため、医師による指導・助言及び活動内容の検証や教育体制を整備して、救急救命士が行う救命処置の高度化に向けた体制の充実強化を図ります。

- ・気管挿管（肺に酸素を送るチューブを挿入する行為）及びビデオ喉頭鏡を用いた気管挿管
- ・低血糖傷病者に対するブドウ糖の投与
- ・心肺停止前の傷病者に対する静脈路の確保及び輸液（乳酸リンゲル液の投与）など



救急救命士による救急救命処置

51,876千円

救急救命士の養成

○人口の増加や高齢化の進展に伴う人口構造の変化、また在宅介護や単身世帯割合の増加等により、今後も救急需要の高まりが見込まれることから、救急隊の適正配置を行い、現場到着時間の維持・短縮等のため、30年度に救急隊を1隊増隊します。これに伴い、救急救命士の常時乗車体制を確保するため、救急救命処置を行うことのできる救急救命士を新たに6名養成し、病院に到着するまでの救護体制を確立することにより救命効果の向上を図ります。(拡充)

68,666千円

☆救急救命士とは、傷病者に対し、厚生労働省で定める救急救命処置を実施することのできる救急隊員をいいます。



教育委員会事務局

<予算額>

問い合わせ先:庶務課 200-3260 内)50101

49,399,485千円 (対前年度比: +15.0%)

<主な事業>

「生きる力」を伸ばし、人間としての在り方生き方の軸をつくる教育の推進

キャリア在り方生き方教育の推進

6,673千円

○将来に向けた社会的自立の基盤となる能力や態度を育むため、小学校からの系統的な「キャリア在り方生き方教育」を全校で実施します。

確かな学力と豊かな心の育成に向けた取組

574,237千円

○一人ひとりの「生きる力」を伸ばしていくため、学ぶ意欲・態度を育むことを大切にしながら、「確かな学力」「豊かな心」を育てる取組を推進します。

- ・習熟度に応じたきめ細やかな指導の充実に向けた、より有効な指導形態・方法の研究・実践
- ・学校図書館の充実に向けて、常に人がいる環境づくりのため、小学校の学校図書館(14校)にモデル的に学校司書を配置(拡充)
- ・高等学校定時制生徒の進学や就職に向けた支援員を配置する自立支援事業の実施(新規)

中学校給食の推進

846,887千円

○安全・安心で温かい中学校完全給食の早期実施に向けた取組を推進します。

- ・学校給食センターの設計及び工事、配膳室の基本設計等(9校)及び工事(21校)の実施など

○小中合築校方式(東橘中、はるひ野中)及び自校方式(犬蔵中、中野島中)による中学校完全給食を実施します。(拡充)



一人ひとりの教育的ニーズへの対応

児童支援コーディネーター専任化の推進

131,891千円

○いじめや不登校等の未然防止と早期発見・早期対応を図るため、児童支援コーディネーターを専任化する学校を65校から79校に拡大します。(拡充)

特別支援教育の充実

560,993千円

○特別な教育的ニーズのある児童生徒に対し、適切な教育的支援を行えるよう、特別支援教育サポーターを配置します。

○医療的ケアを必要とする児童生徒への看護師の訪問を週1回から2回に充実します。(拡充)

○「川崎こども心理ケアセンターかなで」施設内学級を開設します。(拡充)

児童生徒理解・相談体制の充実

192,583千円

○子どもが置かれている環境の調整を行うスクールソーシャルワーカーを7名から8名に増員します。(拡充)

就学援助・就学事務の円滑な実施

744,128千円

○援助を必要とする対象者へ確実に援助費を支給するとともに、学齢簿管理の適正化、申請手続の迅速化、事務処理の効率化を推進するため、新たに就学事務システムを構築します。(新規)

安全で快適な教育環境の整備

学校安全対策の推進と教育環境の整備

1,963,540千円

○地域社会全体で学校の安全確保に取り組み、防犯力の向上や防災教育の充実により、総合的な安全対策を推進します。また、災害時における校舎等の安全性や特に利用者のニーズの高い教育環境の確保に向けた整備を行います。

- ・教育施設の特定天井改修工事（2校）等の非構造部材耐震対策や灯油式発電機整備（40校）等の各種防災機能の強化（拡充）
- ・学校のトイレ快適化（7校）やエレベータ整備（3校）を実施

学校施設長期保全計画の推進

10,599,105千円

○「学校施設長期保全計画」に基づき、改修による再生整備と予防保全を併せて実施し、より多くの学校の教育環境の改善と長寿命化による財政支出の縮減を図ります。（拡充）

築年数	建物	設計		工事	
		着手	継続	着手	継続
31年以上	校舎	4校	8校	—	—
	体育館	5校	5校	5校	—
21年以上	校舎	4校	—	4校	—
	体育館	9校	—	9校	—
20年以下	校舎	2校	—	2校	—
	体育館	2校	—	2校	—



再生整備モデル実施（西丸子小学校）

児童生徒の増加に対応した教育環境の整備

5,180,196千円

○良好な教育環境を確保するため、学校の新設、校舎の増改築等を実施し、児童生徒の増加に対応します。

- ・新たに井田小学校・塚越中学校の設計の実施（新規）
- ・新川崎地区・小杉駅周辺地区の小学校新設に向けた事業の推進

家庭・地域の教育力の向上

地域における教育活動の推進

26,715千円

○子どもの泳力向上に向けて、地域の教育資源であるスイミングスクール等と連携して、泳ぎが苦手な子どもを対象に水泳教室を開催します。（拡充）

地域の寺子屋事業の推進

34,914千円

○シニア世代の知識と経験を生かして多世代で学ぶ生涯学習の拠点として、地域ぐるみで児童生徒の学習をサポートする「地域の寺子屋」を随時開講します（17か所→35か所）。（拡充）

自ら学び、活動するための支援

生涯学習環境の整備

679,744千円

○老朽化の進んだ社会教育施設の維持補修を行うとともに計画的な予防保全を実施し、長寿命化に向けた取組を推進します。

市民の文化芸術活動の振興

文化財の保護・活用と魅力ある博物館づくりの推進

475,780千円

○川崎市の歴史や文化の理解のために、重要な文化資源である文化財の保護・活用に向けた取組を推進するとともに、各博物館施設の魅力向上につながる事業を展開します。

- ・日本民家園50周年に向けた企画展示室の整備や利用者サービスの充実（新規）

会計室

<予算額> 問い合わせ先:審査課 200-3325 内)49101

117,005千円 (対前年度比: +15.5%)

<主な事業>

会計事務の適正かつ効率的な管理運営 117,005千円

- 会計管理者の補助組織として、支出負担行為に関する確認、現金、有価証券及び物品の出納保管並びに決算の調製等を行います。本市の支出が適正に行われるよう審査するとともに、公金を確実かつ有利に保管・運用することで、本市の公金の適正な管理に取り組みます。
- 事務負担の軽減及び費用の節減を図るため、庁内で共通して使用する備品及び消耗品を一括して調達し、必要とする部署へ払出しを行います。

市民オンブズマン事務局

<予算額> 問い合わせ先:事務局 200-3693 内)55911

79,338千円 (対前年度比: +0.0%)

<主な事業>

市民オンブズマン制度の運営 39,066千円

- 市民からの市政に関する苦情申立ての処理や市政の監視などを、市民の立場に立って行うとともに、必要に応じ、市長や市の関係機関に勧告・意見表明などを行い、行政の改善に努めます。

人権オンブズパーソン制度の運営 40,272千円

- いじめ、虐待など子どもの権利の侵害や、DV(ドメスティックバイオレンス)、セクハラなど男女平等に関わる人権の侵害について相談や救済の申立てを受け、関係機関などと連携・協力して問題解決を図ります。



選挙管理委員会事務局

<予算額> 問い合わせ先:選挙課 200-3423 内)56102
653,469千円 (対前年度比: +10.5%)



選挙マスコット
「イックン」

<主な事業>

選挙の適正な執行

375,818千円

○3年に一度執行される参議院議員通常選挙等の適正な管理執行を行います。

啓発事業の推進

3,045千円

○選挙に関する講演会の開催、区民祭等での啓発運動、市内中学校の生徒会役員選挙への協力、高校生・中学生への啓発チラシの配布等、選挙権年齢の引下げを踏まえた若年層啓発を中心に明るくきれいな選挙、投票総参加のための取組を進めます。

監査事務局

<予算額> 問い合わせ先:行政監査課 200-3437 内)55710
168,939千円 (対前年度比: +4.2%)

<主な事業>

監査機能の強化

1,020千円

○監査及び決算審査における専門的な財務分析などに公認会計士を活用することにより、監査機能を強化します。また、監査水準を保つため、公認会計士の活用をOJTに組み込むことにより、監査事務に従事する職員の専門性を高める取組を進めます。



人事委員会事務局

<予算額> 問い合わせ先:調査課 200-3341 内)55811
123,859千円 (対前年度比: +3.5%)

<主な事業>

職員採用試験等の実施

20,058千円

○職員の採用や昇任に係る競争試験及び選考を実施します。また、職員採用案内パンフレットの作成、職員採用説明会の実施及び就職支援サイトへの登録など様々な広報活動を通して多様な資質と能力をもった人材確保の取組を推進します。



議 会 局

<予 算 額>

問い合わせ先:庶務課 200-3366 内)53101

1,712,852千円 (対前年度比:△2.0%)

<主な事業>

議事運営の取組

26,867千円

- 本会議、常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会の議事運営並びに会議録等の作成を行います。
- 会議録検索システムの運用及びインターネット上への公開を行います。

議会広報の充実

76,293千円

- 議会に対する関心と理解を高めるため、議会の活動の概要を広く市民にお知らせします。
 - ・広報紙「議会かわさき」の発行(年4回)
 - ・「夏休みこども議場見学会」の実施
- 「市民に身近な開かれた議会」の一層の推進を図るため、本会議等の模様をインターネット等で中継します。
 - ・従来からの本会議、予算審査特別委員会及び決算審査特別委員会(全体会)に加え、新たに常任委員会、決算審査特別委員会(分科会)におけるインターネット議会中継(生中継・録画中継)の実施(拡充)
 - ・各区役所でのモニター中継の実施
 - ・スマートフォン及びタブレット端末に対応した生中継・録画中継の実施
- テレビ番組を利用して、議会活動のPRを行います。
 - ・「議長・副議長の新春対談」(1月放送)
 - ・「市議会座談会～予算議会を前に～」(2月放送)



市議会本会議場



夏休みこども議場見学会

議員報酬の支給等

1,013,671千円

- 市議会議員の議員報酬及び期末手当の支給等を行います。

7 区 共 通 予 算

区政総務費・戸籍住民基本台帳費では、区役所等庁舎・設備の整備、道路施設等の大規模補修、区役所の各区域にまたがる事業に関する予算を計上しています。

ここでは、それらの主な内容についてご紹介します。

<予 算 額>

6,461,389千円 (対前年度比：△17.9%)

<主な事業>

問い合わせ先:市民・子ども局庶務課 200-2255 内)26101

共に支え合う地域づくりに向けた区役所機能の強化

653,212千円

- 区役所庁舎等の長寿命化に向け、予防保全を含む改修・補修を実施します。(拡充)
- 市民同士のつながりやコミュニティづくりを進めるとともに、市民の主体的な活動を促進する取組を進めます。(新規)



区役所での住民参加型ワークショップ

戸籍・住民票等の証明書交付の利便性向上

1,066,992千円

- 市民の利便性の向上と証明交付窓口の混雑緩和を図ることを目的として、個人番号カードを利用したコンビニエンスストアにおける戸籍・住民票等の証明書の交付(コンビニ交付)の普及促進を図るとともに、コンビニ交付に必要な個人番号カードの普及を併せて進めます。
- 28年5月から郵送請求による戸籍・住民票等の証明書交付事務を(仮称)川崎市郵送請求事務センター(麻生区役所柿生分庁舎内)に集約し、業務の効率化と市民サービスの向上を図ります。(新規)

問い合わせ先:建設緑政局庶務課 200-2785 内)38201

市内道路施設の維持管理・大規模補修

667,147千円

- 市内7区の道路に対して適切な維持管理を計画的に実施することにより、道路交通の安全を確保し、市民の快適な生活環境を維持します。
 - ・武蔵溝ノ口駅前広場エスカレーター改修、道路冠水対策等の工事

公園緑地・街路樹の維持管理

1,365,330千円

- 市内の主要な公園、駅周辺の路線等の街路樹に対して安全・安心で快適に利用いただけるよう維持します。
 - ・公園内トイレ清掃の充実や主要な公園の樹木剪定等
 - ・大きく育った街路樹の健全度調査や剪定の実施等

<予算額>

問い合わせ先:総務課 201-3121 内)61110

1,509,884千円 (対前年度比: +0.5%)

<主な事業>

地域資源を活かしたまちづくりの推進

23,731千円

○地域団体などとの協働により、東海道川崎宿の歴史・文化資源を活かした各種イベントを開催し、地域の回遊性・集客性の向上につなげるとともに、東海道沿いにおける浮世絵のフラッグやトランスボックスの掲出エリアを拡大するほか、新たに道標の設置による江戸風意匠の街並みを推進し、川崎区のイメージアップとまちの賑わいを創出します。



東海道かわさき宿交流館

○富士見公園内の「富士通スタジアム川崎」など、スポーツ施設の魅力の発信や区内の地域スポーツ団体などと連携して、多くの区民にスポーツと触れ合う機会を提供するとともに、地域交流の場をつくり、まちの活性化に向けた取組を推進します。

区のイメージアップに向けた環境まちづくりの推進

8,019千円

○区の花「ひまわり」「ビオラ」、区の木「銀杏」「長十郎梨」の周知・浸透を図るとともに、区のイメージアップ、地域緑化の推進、環境意識の向上につながる植栽キャンペーンや銀杏に関するイベントなどを行います。

○川崎駅周辺の壁面などに落書きが多くまちの景観を損なっているため、落書きを消すと同時に壁面に容易に落書きが消せる加工を行い、環境の向上を図ります。

○少子高齢化社会に対応した公園における新たなコミュニティの創出と公園利用の活性化に向けた取組を推進します。(新規)

高齢者等が安心して、生き生きと暮らせるまちづくりの推進

3,917千円

○地域住民が安心して立ち寄り、日常生活に関することや健康づくりなどについて話し合い、顔の見える交流ができる「地域の縁側」づくりを推進するため、広報や縁側連絡会の開催、縁側活動団体への支援などを行います。

○高齢者等が安心して生き生きと暮らしていけるまちづくりを目指し、区で開催する養成講座を受講した健康づくりサポーター等とともに地域における介護予防や健康づくりに取り組み、介護予防の一環として高齢者等が身近な地域で気軽に出席される場を掲載した冊子を作成し、配布します。



地域の縁側での交流

○川崎区は市内で最も高齢化率が高いことから、高齢者とその家族の身近な相談機関である地域包括支援センターのパンフレットを作成し商業施設などで配布するほか、地域情報誌に連載で紹介するなど、一層の周知を図ります。

地域における子ども・子育て支援の推進

10,125千円

- 不登校、ひきこもりなどの思春期における様々な問題を抱える子どもと保護者が、安心して利用し相談できる居場所「こどもサポート旭町」を週4日開所し、社会参加する力を身に付けるための支援を行います。
- 公立保育所などを活用し、離乳食講座や絵本の読み聞かせを実施するとともに、緑のカーテンづくりなど緑化に関する取組を行い、地域住民との交流・連携を図りながら子育て世代への支援を行います。

安全・安心なまちづくりに向けた地域防災力の向上

7,648千円

- 地域防災力の向上を目指し、小・中学校における避難所開設・運営訓練や津波避難訓練のほか、外国人市民を対象にした防災訓練を実施するとともに、庁舎内書棚等の転倒防止対策を行うなど区本部体制の強化を図り、災害に強いまちづくりを推進します。

交通安全と自転車対策の推進

4,293千円

- 川崎区は自転車利用者が多く、駅周辺における放置自転車が歩行者の通行の妨げになっているため、小学生の絵画を印刷した啓発シートを路面に貼付し、放置自転車の抑制に取り組みます。
- 交通安全・防火・防犯の総合対策を推進するため、子どもの見守り活動や青色回転灯装着車による地域パトロールを行うとともに、地域住民や関係団体などと連携した防犯教室の開催など区内の実情に合わせた効果的な啓発活動を行います。
- 自転車事故の防止に向けて、警察、各種交通団体などと連携し、区内各所において交通安全キャンペーン活動を行うとともに、幅広い世代を対象に自転車教室などを開催し、交通ルールの遵守及びマナーの実践について広く啓発活動に取り組みます。



啓発シート貼付の様子

その他地域課題への対応

2,981千円

- 市民活動団体などから企画提案を募集し、区民と行政が協働で身近な地域課題の解決に向けた事業を実施します。

区役所サービス向上への取組

2,618千円

- 便利で快適な区役所サービスを提供するため、窓口環境の整備などに取り組みます。(拡充)

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

740,397千円

- 川崎区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地の維持管理

189,636千円

- 川崎区内の公園緑地の樹木の剪定、施設補修等を行います。